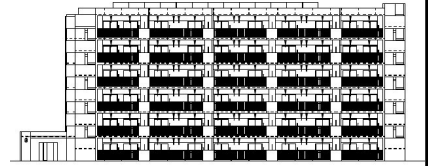


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	崇徳院寺尾岡地公営住宅(1期-第二工区)	階数	地上6F
建設地	綾瀬市寺尾中2-1外	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	78人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2022年11月2日
敷地面積	1,833㎡	作成者	株式会社ユニバサル設計
建築面積	465㎡	確認日	2022年11月2日
延床面積	2,070㎡	確認者	株式会社ユニバサル設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	良好な都市環境を形成し、落ち着いた街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。	
<b>その他</b>		
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱等性能等級5を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。	耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。	有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される